

- 1 派遣期日 令和元年度11月15日（金）
- 2 研修先 会場名：横須賀市総合福祉会館（学校名：横須賀市立田浦小学校）
所在地：〒238-0041 神奈川県横須賀市本町2丁目1
会場名：横須賀芸術劇場
所在地：〒238-0041 神奈川県横須賀市本町3丁目27
<http://www.schoolnet.edu.city.yokosuka.kanagawa.jp/schoolnet/element/106taura/index.htm>

3 研修内容

（1）視察校における研究への取り組み

研究主題：音・人・心 ともにつなげる 音楽の力
研究の視点：「ワクワク・ドキドキ感を実感する授業・指導の工夫」
「児童・生徒が主体的に学び協働し合う学習活動」
「学びの連続性・系統性を考えた授業づくり」

横須賀市立田浦小学校では、これら3つの視点を基に「児童・生徒が主体的・協働的に音楽を学んでいく授業づくりの工夫」を進め研究を行ってきた。研究の視点は以下の通りである。

①「ワクワク・ドキドキ感を実感する授業・指導の工夫」について

音楽のよさや楽しさを感じるとともに、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりする力を育成し、音楽と生活との関わりに関心をもって、生涯にわたり音楽に親しむ態度を育むこと等を重点においている。これらの充実を図るために、以下の具体的な手立てを挙げている。

○音楽的な見方・考え方を働かせた学習指導計画の設定

- ・知覚と感受のつながりを意識した授業づくり
- ・学習のねらいに沿った場面設定の工夫
- ・魅力的な音楽との出会いの場の設定

②「児童・生徒が主体的に学び協働し合う学習活動」について

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めるには、学習を振り返る場面や対話によって自分の考えを広げたり深めたりする場面の設定をどこにするかが重要になる。また、教師の大切な役割として、児童の表現の変容をとらえて、具体的に伝え、価値づけ、全体で共有しそれぞれの表現の良さを認め合う体験を積み重ねていくことが大切である。本研究では、学習活動の実現に向けての手立てを、以下のように挙げている。

○学ぶ意味や自らの成長を実感できる学習活動の設定

- ・思考する場と対話する場、伝え合い共有する場
- ・学習の見通しを立てたり、次の活動に生かしたりするための振り返りの場

○教師の役割の明確化

- ・思考、判断し、表現する過程を大切にしたい学習活動
- ・子どもの期待感や困り感に寄り添った支援と声かけ（価値づけや認め合い）

③「学びの連続性・系統性を考えた授業づくり」

小中学校の授業を一層充実させるために、学年間・校種間等の連続性や系統性を踏まえた授業を行うことが大切である。音楽科としての「資質・能力」の育成を目指すには「児童・生徒の発達段階や学習の系統性を考え」「学習を積み重ねる」「繰り返し、継続的に

- ・ 学年間の題材や、小中のつながりを考えた授業づくり

今回の授業参観を通して、普段からの積み重ねの大切さを感じ、さらに学級経営の在り方を見直すきっかけとなった。子どもたちが、より楽しくよりたくさんのことを吸収できるように、学級の実態に合った授業展開をしていきたいと思う。